

年賀式校長挨拶（2025. 1. 8）

皆さん あけましておめでとうございます。

H a p p y N e w Y e a r !

大きな事故もなく、年賀式を迎えられたことを嬉しく思います。

また、今、須田君からは立派な年頭の辞をいただきました。素晴らしい挨拶でした。有難うございます。

さて、今日は、年の初めにあたっての皆さんへのメッセージと、それからいくつかの連絡・報告事項を伝えたいと思いますが。その前に、この間の武蔵生の活躍についてご報告をしたいと思います。たくさんあるので、順次、進めていきたいと思います。

まず科学系の活躍です。

11月3日(日)に都立科学技術高校で開催された第14回科学の甲子園 東京都大会です。メンバーは高2の5名と高1の1名。この6名からなる武蔵生チームが出場し、出場45チームのうち、団体で見事準優勝（第二位）、さらに生物、地学、情報領域ではそれぞれ第一位となりました。おめでとうございます。

立派ですね。でも本当に甲子園まであと一歩惜しかったね。その悔しさは、また後輩たちが晴らしてくれると思います。お見事。おめでとうございます。

続いて第68回日本学生科学賞です。中3生が見事入選二等、中1生が入選三等になりました。おめでとうございます。

続いて第19回筑波大学朝永振一郎記念「科学の芽」賞です。こちらは中2の生徒1名と中1の生徒2名が努力賞を受賞しました。出場者の上位7%にあたります。おめでとうございます。

続いて文科系研究の活躍です。

高2生が、昨年12月末に発表された日本倫理哲学グランプリ 2024 にて見事奨励賞を受賞しました。これは上位5%にあたります。おめでとうございます。

続いて、文化部の活躍です。

卓上遊戯部です。昨年11月10日に行われた「第7回 東京都高等学校ボードゲーム選手権大会」の団体戦で、武蔵は4チームがエントリーし、そのうち武蔵Aチームが全17チームの中で、見事優勝をしました。メンバーは高2生、高1生、中3生からなる5人。おめで

とうございます。

最後に運動系の活躍です。これも色々な部活がそれぞれ次のシーズンに向けて頑張っていますが、今日ご紹介するのは相撲です。

東京都高校相撲新人大会が 11 月 23 日、立川練成館相撲道場を会場に行われ、100 kg 未満級の部で、高 2 の生徒が見事優勝しました。その結果、3 月 15 日から高知県の春野総合運動公園で開催される第 76 回全国高校相撲選抜大会に東京代表として出場することになりました。

武蔵には相撲部はありませんが、個人で毎週道場に通い、小学校時代から続けてきた相撲に取り組んできました。同時に体力向上も含め、野球部との二刀流に挑戦。相撲の競技人口は少ないと思います。今回の都大会も 3 人の総当たり戦。ただ他の二名はいずれも相撲部のある強豪校の選手たちで、その選手を破ったのは立派だと思います。おめでとうございました。

他にもご紹介できませんでしたが、多くの武蔵生が頑張っています。讀えたいと思います。

さて、次に、新年を迎えるにあたり、最近私のはまっていることを踏まえ、皆さんへのメッセージを送りたいと思います。

英語で言います。

Don't waste your precious time ! あなたの貴重な時間を無駄にするな！

何でこんなことを言うかという、私は最近そのことを実感しているからです。私は通勤に時間がかかります。1 時間 40 分。満員電車なので、本も読めずに、せいぜい音楽を聴いてボーっとしていることが多かったのですが、最近、英語を聴いています。

英語は、遥か昔の武蔵時代から、学んでいたはずですが、ずっと苦手意識を持っていました。特に発音とか無頓着。褒められたこともないし、ジャパニーズイングリッシュの感じで発音していました。だから、どれだけ学んでも聞き取れない。海外で生活すれば英語力があがるだろうけど、行かないから無理だなあと思っていました。

それが、ここ 3 か月、通勤で英語の番組を聴いているだけで、劇的に変わりました。

それは何かというとフォニックスを学ぶポッドキャストです。

フォニックスって知っていますか？

フォニックスは武蔵では中1の最初に学んでいます。英語の発音の秘密が理論的によくわかります。英語圏の国では子供がこのフォニックスで綴りと発音の関係を学んでいます。

武蔵生は、みなフォニックスを理解していると思いますし、最近では Elsa Speak を使って発音練習もしているということなので、発音学習は進んでいると思いますが、私の武蔵時代にはそんな授業はありませんでした。格好よく発音する同級生もそんなにいなかったし、大体恥ずかしがっていました。私自身も全くできませんでした。

さて、フォニックスとは何か。英語の先生を差し置いて、私の理解でいうと、こういうことです。

まず、なぜフォニックスが大事かという点、日本社会において、日本語をローマ字表記する方法が編み出されたこと自体は便利だけれど、英語をこの発想に置き換えてしまうカタカナ英語が実は日本人の発音を大きく邪魔しているという認識です。

次に、じゃアルファベットの発音はどうかという点、英語には我々がふつう学んできた A、B、C、D、E（エイ、ビー、シー、ディー、イー…）という「名前読み」と、A,B,C,D,E（ア、ブ、クウ、ドゥ、イー…）という「音読み」の二種類があること。そしてこの音読みの方が基本なこと。ローマ字の発音ではないんですね。さらにこの音読みの音は、大きく二種類、さらに三種類に分けられます。まず声を出す「有声音」と息だけで声を出さない「無声音」の二種類に分けられます。無声音は日本語の「あいうえお」にはないですね。そして、この「有声音」のなかでも、特に日本人は口を大きくするなど意識してエネルギーをかけなくてはならない四つの音、A、O、R、W があること。

最後に、これが本当に目から鱗でしたが、日本語は基本的に平坦な狭い幅で、口もあけずにしゃべる、そしてどの音も同じくらいのエネルギーで話す言語であり、一方英語はアクセントの強弱があり、強い音と発音もしない弱い音、さらに消えてしまう音もあるということです。

フォニックスを学んで、日本人が英語がなかなか聞き取れない理由がはじめてよくわかりました。そして驚くことに、通勤電車で学習しているうちに、英語のリスニング力が飛躍的にあがり、よく聞こえるようになりました。発音が正しくできるようになると、英語がよく聞き取れるという法則があるんですね。よく英語の先生が「音読が大事」というけれど、正しく発音する音読の大切さがやっとよくわかるようになりました。もちろんまだまだリスニング能力は鍛えないと、ネイティブの日常会話やニュースや映画、音楽の音までしっかり聞こえるわけではありません。断片的にかなりの確率で音を拾えるようになっただけで

すが、67歳になってはじめて、「英語が楽しい」と思えるようになりました。通勤時間が楽しくてしょうがありません。

一方、通勤電車に乗っていると、今多くの大人も、ゲームをやったり Web や動画を見たりして、時間をつぶしています。それは仕方がない面があります。今の時代私自身もすっかり SNS に組み込まれています。メールのチェックから始まり、動画も含め、世の中に流れている様々な情報洪水の中から、正しい情報を見極めようと色々なチェックをしています。それを否定するつもりは全くありませんが、「もったいないなあ」と思うようになりました。

まして、君たちの時間は無限にあります。それをどう使うか。武蔵は自由な学校なので、他の学校以上に、自分たちが使う時間をどのように使うかは自分で決められると思います。

過日、全校生徒に生活時間アンケートを行いました。その中にこんな質問がありました。「あなたはふだん平均して1日何時間くらい、学習以外の目的でSNSやネット動画やウェブページの閲覧・利用をしていますか？」と聞きました。どのくらいだと思いますか？

人によって個人差があるのですが、平均すると中1は2.1時間、中2は2.9時間、中3は2.8時間、高1は3.4時間、高2は2.7時間、高3は2.2時間でした。平均すると高1が一番多いんだね。

皆さんはこのことをどう思いますか。ゲームも含め、ネットとの向き合い方の課題は、武蔵だけではなくありません。日本中の中学生高校生の問題でもあるし、さらにオーストラリアでの16歳未満SNS禁止法に見られるように、世界中が抱える課題だと思います。もっと言えば、「SNSに支配されがち」という問題は、青少年だけでなく大人が抱えている難しい問題だと思います。

だからこそ、この難しい課題解決の糸口は君たち自身の手のひらの中にある。

学校はスクールといいます。その語源は、ギリシア語のスコレーにあります。そして、このスコレーは余暇という意味でした。余暇をどう過ごすか、暇な時間をどうつぶすかがギリシア市民にとって重要なことで、もちろんその背景に奴隷制があったことも忘れてはならないのですが、ギリシア市民は「学ぶことが大事だ」という考え方から、スコレーが学校の意味に転じたということです。それは今も変わりません。スコレーつまり暇な時間をどう使うかで人間の価値が決まっていくと思います。

だから、Don't waste your precious time !

もう一度、今度は言葉を足して言います。

Don't waste your precious time for your precious future!

新しい年に際し、皆さんにこの言葉を贈りたいと思います。ぜひ考えてみてください。

次に大きく二つ報告があります。

一つ目は、3学期に武蔵の卒業生、しかも素晴らしい卒業生が、続々と後輩のためにお話をしてくれますので、その案内です。

まず今週の11日土曜日の14時から、これはオンラインになりますが、80期というからまだ若い卒業生で、アメリカ・カリフォルニアのメタ、前のフェイスブックですね。そこで働いている川邊雄介さんが「**From Musashi to Silicon Valley: A Journey in Software Engineering**/武蔵卒業生、海を渡ってソフトウェアエンジニアになる」という題でオンライン・ズームでお話をしてくれます。「武蔵では決して成績の良い生徒ではなかった」と自身を振り返る川邊さん、実際そうだったみたいですが、その川邊さんが、大学卒業後に海を渡り、如何にしてシリコンバレーでキャリアを得るに至ったのか。講演会では、自分の道を見つけて人生を変えていく、川邊さん流の「人生を楽しむ方」について語ってくださいます。そうね。人生は成績だけじゃないんだね。違うところに本質があるんだと思います。この講演会はREDが主催し、RED以外の武蔵生にも門戸が開かれています、すでに各学年のグーグル・クラスルームで案内が行っており、べ切は6日までだったそうですが、申し込みオクケーと許可を得ましたので、まだ申し込んでいないで興味のある生徒はぜひ申し込むと良いと思います。なお、講演時間は1時間。オンラインの英語で行われます。私もZoomに入ってお話を聞きたいと思います。自分のリスニング能力を試してみる、そして人生の掴み方を先輩から学ぶと良いと思います。

次に、3月の特別授業中に二人の卒業生が来ます。一人目は3月12日（水）の午後、5・6限の時間を使って昨年5月までイギリス大使を務められた林肇さん（51期）です。ご自身のキャリア形成とともに、グローバルな視点からお話をしていただけるとと思います。中1から高3までの希望者を対象にしますが、高1生は「世界に目を向ける」きっかけにするという視点から、全員参加の特別授業にします。

続く3月13日（木）の午後、ゲーム会社のSEGAで代表取締役社長兼CCOの内海州二さん（54期）に来ていただきます。ご自身のキャリア形成とともに、世界を相手にするゲームビジネスについてお話をしていただきます。これも中1から高3までの希望者を対象にしますが、中3生は職業を考えるキャリアガイダンスの視点から、全員参加の特別授業にします。追って各学年のグーグル・クラスルームで案内を出しますので、奮って申し込んでください。

縁の話を知っていますか。大人（たいじん）、中人（ちゅうじん）、小人（しょうじん）によって、縁の生かし方が違うという武道家の柳生一族に伝わる言葉です。

中人は縁を生かすのですが、大人は袖触れ合う縁をも生かし、小人は縁にも気づかず。

人生は縁、出会いによって大きく変わります。そして出会いは結局自分が引き寄せるかどうかです。それが良い人生を送る秘訣です。ぜひ、諸君にはこの縁を生かしてほしいと思います。

なお、来年 4 月の創立記念講演会でも、今年度の池上彰さんに続いて素晴らしい方が来られます。高三生には申しわけないですが、筑波大学にお勤めで睡眠学者の柳沢正史さん（53 期）です。柳沢さんも後輩に語る機会を楽しみにいただいていますので、興味のある人は色々な本も読んでみるとよいと思います。

最後にもう一点、重要かつ残念な報告をします。

実は食堂の営業が今年度限りで終了します。この問題はの間大変悩ましい問題でした。その経過も含め、詳しくお話をしたいと思います。

今の食堂は、図書館棟ができてから 21 年。業者さんに運営を委託してきました。

現在、1 日の食数は大体 120 食という実績です。全校生徒数が 1048 名なので、1 割強の生徒が利用している状況です。ただ、その食券収入だけでは経営がまかなえないということで、これまでも業務委託費として学校として補助をし、その額も増やしてきていました。

そうした状況において、この 9 月に業者さんから、業務委託費を極めて大幅に値上げしてほしいという要求がありました。

学校としても、その要求を呑むかどうか慎重に検討してきましたが、そこまでの財政負担は困難であるとの結論にいたりました。また、他の業者さんにもあたり、食堂運営を委託できないかと打診をしましたが、現状の負担で行える業者を見つけることはできませんでした。背景には、現在の経済・社会情勢があると思います。具体的には仕入れ価格の高騰、パートさんなどの人件費の上昇あるいは労働力確保の難しさ、また学生のランチに対するニーズの変化などを踏まえ、学生食堂全般を運営することの難しさが現状ではあると思われます。

さて、食堂が撤退した後の代替策ですが、今も一日 120 食は出ているので、学校として

引き続き食堂は必要だと考えています。

このため、実はこのタイミングで、現在工事をしている大学2号館、大学プールの横の建物ですが、そこに入る大学食堂を利用する方向で、対応したいと考えています。新しい大学食堂は、高中校舎からも近いこと、大学の授業時間と高中の授業時間にずれがあることなどから、利用しやすいのではないかと考えています。

ただし、2号館が完成し食堂が営業を開始するのは来年の2学期、9月以降の予定なので、それまでの間は、食堂の空白期間となります。このため、その間をどうするかについては、現在鋭意検討中です。

食堂はあと3か月の営業となります。この3学期、皆さんも食堂を使うことが多いと思います。食堂の皆さんには、武蔵の生徒を心から愛していただき、色々な形で本当にお世話になりました。残された3か月を大切に、感謝の気持ちを伝えていってほしいと思います。

最後の最後にもう一点、連絡があります。

海外提携校との交流ですが、3学期は韓国と中国との交流があります。韓国からは来週以降4名の生徒が高1に入ります。中国からは再来週以降2名の生徒が高2に入ります。ぜひ暖かく迎えていただければと思います。

高3の諸君も今日が武蔵最後の年賀式でした。いよいよ受験本番ですね。あせらずあわてずあきらめず。体調には気を付けて、自分の力を信じて頑張ってもらいたいと思います。なんといっても人生で一番大事なものは、前向きやで！

それでは素晴らしい一年にしていきましょう。

ご清聴ありがとうございました。